



かおり通信

進級号

NO.15

学校教育目標……『自分らしさを大切にし、互いに認め合える子どもの育成』 「自律」と「共生」

めざす子ども像…『共に考える子・互いに思いやる子・みんなでチャレンジする子・最後まで諦めない子』

めざす学校像…『子どもたちから笑顔が絶えない学校・気持ちのいい挨拶、きれいな学校・教職員同士が
専門家として成長できる学校・保護者の期待に応える学校・地域と学校が支え合う学校』

茅ヶ崎市立香川小学校 校長 松永 忠弘

令和6年3月25日

「ご卒業、おめでとうございます！」 ～在校生代表として、5年生も参加しました～

3月14日（木）卒業式の予行練習を行いました。コロナ禍で参加できなかった5年生も一緒に練習しました。5年担当の森川教諭から6年生の子どもたちに向けてこんな話がありました。「卒業式は、自分たちでつくるんだよ。卒業させてもらうんじゃなくてみんなでつくるんだ。だから、『ハイ』だけじゃなくて、自分で自分の名前を言うんだ。自分の名前を言って、胸を張って卒業証書をもらおう。お家の人が一生涯懸命考えてつけてくれた名前です。『ありがとう』の気持ちを込めて・・・その声が伝わるといいね。」



5年生の子どもたちも、真剣に練習にのぞむ6年生の姿を見て、最高学年になる自覚がきっと芽生えてきたことと思います。

コロナ禍の4年間、地域の皆さまをはじめご来賓の皆さまにも参列をご遠慮いただいておりますが、ようやく通常の卒業式を実施することができました。6年前の入学式の際は期待と不安でいっぱいだった子どもたちが、香川小学校での学校生活を経て、大きく成長しました。卒業生全員が、それぞれの夢の実現に向けて、思う存分力を発揮してくれることを心から願っています。立派に成長した6年生と、お子さんの成長を願って常に支えてくださった保護者・地域の皆さまに、心より感謝とお祝いを申し上げます。

「6年生奉仕活動」

～学校の隅々まで掃除をしてくれました～

卒業式の予行練習が終わった後、6年生が学校の隅々を掃除してくれました。下駄箱や廊下のサッシ、掃除道具入れなど、普段できないところをピカピカにしてくれました。その姿を在校生たちが見ていました。

「6年生、ありがとう！」と声をかけると、とても清々しそうでした。



6年生、
ありがとう！



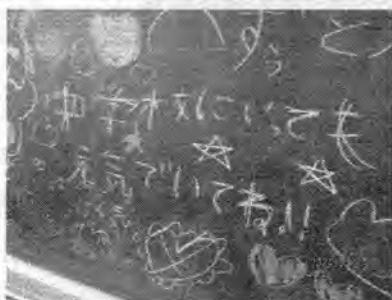
PTA 本部役員・
ボランティアの皆
さまも掃除して
くださいました！

2/29

「6年生、さようなら！」

～6年生を送る会・お別れ式をしました～

卒業式を次の週に控えた3月14日(木)に、「6年生を送る会」をしました。6年生がグループに分かれて、1年生から5年生までの各クラスに入って交流しました。校庭で6年生と一緒にドッジボールをするクラス、教室でフルーツバスケットやへびじゃんけんをするクラスなど、自分たちで考えた遊びをして楽しみました。子どもたちの歓声や笑い声が学校中に響きました。



その後は、6年生と一緒に給食を食べました。6年生とお話をしながら給食を食べる様子は、とても楽しそうでした。

教室の黒板に、「中学校に行っても元気でいてね!!」「ずっとだいすきだよ!」「6年生、ありがとう!」・・・など、6年生に向けたメッセージがたくさん書いてあるクラスもありました。

卒業式の前日には、「6年生とのお別れ式」を校庭で行いました。1年生から5年生の子どもたちが、6年生に向けて「おめでとうの

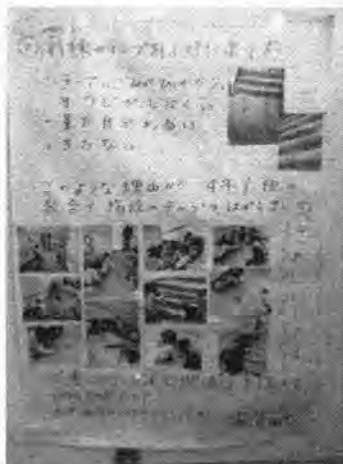
言葉」を代表の子の言葉に合わせて「呼びかけ」で伝えました。

「6年生のみなさん、ごそつぎょうおめでとうございませう。ほくたちが入学してからずっとおせわになりました。あさのしたくのしかたやきゅうしょく、そうじ、学校のことをたくさんおしえてもらいました。休みじかんには、いっぱいドッジボールをしてくれました。ほくたちは6年生のみなさんのおかげでたのしく学校にこられるようになりました。ありがとうございました。」(1年4くみ やすながとわ)・・・6年生への感謝の気持ちをいっぱい込めて伝えました。



「学校をきれいにしようプロジェクト」

～自ら考え、自ら行動する力～



4年1組(大町級)の総合的な学習の時間の活動として、南棟の階段の床に張られていたテープを、子どもたちがはがしてくれました。何年も前に張られた矢印のテープで、汚れてしまっていました。

廊下の「流し」をきれいにしていた子どもたちが、はがれかかって汚くなっているテープに気づいたことがきっかけで、クラス全

体の活動に広がったそうです。はがし方もみんな考えて工夫しました。活動の様子を全校に知らせるポスターも掲示しました。そのポスターには、こんなことも書いてありました。「このテープは右側通行を伝えるものであったので、右側通行についても伝えていきたいです。」

「自ら課題を見つけ、自ら考え、行動する」子どもたちに、感心しました。

【1年間、ありがとうございました】

本日は、子どもたちの1年間の活動の最終日となります。明日より13日間の春休みに入ります。4月8日の始業式には一つ進級し、たくましく成長した姿を見せてくれることと思います。保護者・地域の皆さまにおかれましては、本校の教育活動へのご理解ご協力に改めて心より感謝申し上げます。次年度も、香川小学校の子どもたちの健やかな育ちを、あたたかく見守ってくださいますようお願いいたします。

【4月初め行事予定】 詳しくは、各学年便り4月号をご覧ください。 🌸🌸🌸🌸🌸

日	曜	学 校 行 事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	月	春休み						
2	火							
3	水							
4	木							
5	金	↓						
6	土							
7	日							
8	月	始業式・着任式・教科書配布		3	3	3	3	3
9	火	入学式	3					2
10	水	聴力2年（管理職離任式）	3	3	3	3	3	3
11	木	聴力2年	3	3	3	3	3	3
12	金	給食開始（2～6年） 聴力5年 4・5・6年懇談会	3	5	5	5	5	5
13	土							
14	日							

【令和6年度の主な行事予定】（保護者の方にご来校いただく主な行事です）

- ・運動会（10月26日）
- ・土曜参観日（6月29日）

あくまでも予定ですので、日程が変更することもあります。



【児童調査票・保健調査票について】

・児童調査票につきましては、新年度に入ってから新しい用紙を配付いたします。そちらにご記入いただき、4月12日（金）までに新担任までご提出ください。

・保健調査票につきましては、3月25日（月）に返却いたします。食物アレルギー・平熱・連絡事項を記入し、押印のうえ4月8日（月）に新担任までご提出ください。

※どちらも大切な調査票になります。必ずご提出くださいますようお願いいたします。

【子ども見守り隊・地域の皆様ありがとうございました】

日頃より児童の登下校の見守り等を行っていただきありがとうございます。今年度も大きな事故なく安全に登下校することができました。これも、毎日見守っていただいたおかげと感謝しております。来年度も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

【PTAボランティア活動について】

PTAサークル「ベルの会」の皆さんに集計していただいたベルマークで、色画用紙やテープ等を購入しました。物品については、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

また、先日のPTA美化活動では、卒業式に向けて体育館周辺や渡り廊下、会議室前廊下等の掃除をお願いしました。長年たまった砂や埃をきれいに取り払っていただきました。6年生が気持ちよく卒業を迎えることができると思います。お手伝いくださった皆様ありがとうございました。

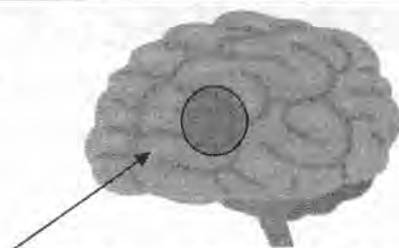
来年度もぜひ様々なボランティア活動に関わっていただき、その活動をきっかけに学校に足を運んでいただけると幸いです。「できる人が できるときに できることを・・・」どうぞよろしくお願いいたします。

こんにちは。理学療法士の崔です。年明けから、子どもたちのできることは、ますます増え、2月・3月の様子では、次年度に向けての心構えの準備もできている様子が伺えます。4月から1年間を通して、子どもたちは自分のペースでしっかり成長しております。これも、子どもの安全基地となる「ご家庭」での関わりが基盤となり、学校やその他でも経験や体験が積み重ねられたためだと思います。これからも「ご家庭」と「学校」と協力しながら子どもを育てていければと感じています。さて、今回は集中力や記憶力に関係する「ワーキングメモリ」という脳の仕組みについてお話をさせていただきます。

ワーキングメモリとは、ちょっとした記憶を覚える事(30秒程度の記憶保持をする短期記憶能力)が発展したものであり、覚えたことややる手順等を一時的に保持しながら、同時に操作や行動ができる能力です。

ワーキングメモリは知的活動の中心的な機能に位置付けられており、覚えることをはじめ、様々な行動に関与しています。

ワーキングメモリは脳において、前頭葉の前頭連合野背外側部(ブロードマン46野)という脳の場所が関連しており、ここは言語発達の文脈形成にも関与する脳と言われています。脳は成長する脳であり、日々の生活の様々な経験や学習で、成長や脳の神経が発達していきます



※ 46野は前頭眼野と前頭連合野の間あたりです。

ワーキングメモリは集中力とも関係する部分であり、集中力のコントロールは4～5歳から発達し始め、9～12歳頃になると制御機能が可能になると言われています。ワーキングメモリの発達は個人差があり2歳程度の差はあると言われています。

ワーキングメモリの成長は、様々な学習や活動、体験を通して、徐々に成長していくものであり、時間がかかるものでもあります。積み重ねができてくると4・5・6年生になってある程度やることに対して集中し、取り組むことが可能となってきます。もちろんそこには個人差もあります。

また、ワーキングメモリは使いすぎたり、疲労をためると能力が低下して、逆に記憶できなかつたり、集中できなかつたりすることにも繋がります。

★ワーキングメモリを伸ばす(集中力を伸ばす)ための生活環境の例★

やることに集中できる環境づくりがワーキングメモリ能力を伸ばすことには大切だと考えます。

①物を覚える時は音に反応しやすい場合は音が少ない状況にする。気になるものを近くに置かない。

(覚えるときはテレビやスマートフォンを消して、気になる事が少ない環境にすると良いです。)

②やるべきことを考えながら作業をする。(部屋の片付けをしながら、次に何をするか考える等)

(やるべきことのリストをメモに書き出して、順番を決め、確認しやすくしておくことも良いです。)

③歩いたり、片付けながら暗算やしりとりをするなど、デュアルタスク(同時進行)をする。

(思い出すときは「ながら作業」で動きながら、頭を働かせることでワーキングメモリの向上につながります。)

④しっかり睡眠をとる。

(睡眠不足では、脳の働きが悪くなります。睡眠をとるために寝る直前はスマホ等は見ないことがおススメです。)

子どもは、やることが苦手であったり、難しすぎると集中力が切れやすく、飽きやすくなります。『好きこそ物の上手なれ』という言葉は、まさに子どもに当てはまりやすく『楽しい』や『好き』という気持ちや『わかった』『できた』という達成感を感じながら、様々なことにチャレンジしていくことで、さらに心身は発達していきます。ご家庭でも可能なところから取り組んでいただき、新年度を迎えられればと思います。何かありましたら、学校へご相談ください。 理学療法士 崔 晃徳

